



2017年8月期 業績説明

2017年8月期 連結決算概要

| 科目 | 金額 | 前期比 前期差 | 予算比 予算差 |
|----------------------|-----------|--------------------|-----------------|
| グループ売上* | 5兆4,995億円 | 104.1% +2,190億円 | 99.5% ▲304億円 |
| 営業収益 | 2兆9,871億円 | 104.2% +1,210億円 | 99.9% ▲18億円 |
| 営業利益 | 1,944億円 | 107.2% +130億円 | 101.9% +36億円 |
| 経常利益 | 1,941億円 | 106.3% +115億円 | 103.2% +60億円 |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 894億円 | 267.1% +559億円 | 93.3% ▲63億円 |

* グループ売上: セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

2017年8月期 セグメント別営業収益

| セグメント | 金額 | 前期比 | 前期差 |
|--------------|-----------|--------|----------|
| 連結営業収益 | 2兆9,871億円 | 104.2% | +1,210億円 |
| 国内コンビニエンスストア | 4,726億円 | 103.8% | +171億円 |
| 海外コンビニエンスストア | 9,579億円 | 120.3% | +1,615億円 |
| スーパーストア | 9,428億円 | 96.5% | ▲339億円 |
| 百貨店 | 3,301億円 | 92.9% | ▲251億円 |
| 金融関連 | 1,013億円 | 102.8% | +27億円 |
| 専門店 | 2,086億円 | 98.7% | ▲26億円 |
| その他 | 115億円 | 97.9% | ▲2.4億円 |
| 消去および全社 | ▲379億円 | - | +16億円 |

2017年8月期 セグメント別営業利益

| セグメント | 金額 | 前期比 | 前期差 |
|--------------|---------|--------|--------|
| 連結営業利益 | 1,944億円 | 107.2% | +130億円 |
| 国内コンビニエンスストア | 1,310億円 | 103.5% | +44億円 |
| 海外コンビニエンスストア | 334億円 | 102.3% | +7.6億円 |
| スーパーストア | 66億円 | 101.5% | +0.9億円 |
| 百貨店 | 8.7億円 | - | +22億円 |
| 金融関連 | 258億円 | 100.1% | +0.3億円 |
| 専門店 | 8.3億円 | - | +52億円 |
| その他 | 21億円 | 121.0% | +3.6億円 |
| 消去および全社 | ▲63億円 | - | ▲1.6億円 |

2017年8月期 主要事業会社の営業利益

| 事業会社 | 金額 | 前期比 | 前期差 |
|---------------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|
| セブン-イレブン・ジャパン | 1,307億円 | 103.3% | +42億円 |
| 7-Eleven, Inc. (ドルベース) | 394億円 (350,887千ドル) | 107.8% (107.1%) | +28億円 (+23,386千ドル) |
| イトーヨーカ堂 | ▲19億円 | - | +14億円 |
| ヨークベニマル (ライフフーズ*込み) | 86億円 | 90.5% | ▲9.0億円 |
| そごう・西武 | 6.2億円 | - | +5.8億円 |

* ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社
ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

特別損失の概要

| 科目 | 金額 | 前期差 | 主な内訳 |
|---------------------------|-------|--------|--|
| 特別損失合計 | 499億円 | ▲381億円 | 中計に基づく事業構造改革の推進 |
| 事業構造 [*] 改革費用 | 217億円 | +115億円 | SSの店舗(神戸・高槻)に係る減損損失の計上等 |
| 減損損失 | 145億円 | ▲208億円 | I Y : 前期差 ▲ 8 8 億円 S S : 前期差 ▲ 1 1 6 億円 |
| のれん 償却額 | - | ▲334億円 | 前年にSSの一括償却あり |
| その他 | 136億円 | +45億円 | NHDにおける事業譲渡損失等 |

いずれも通期計画に織り込んでおります


*事業構造改革費用の内訳は決算短信12ページに記載

2018年2月期 連結業績予想

通期

| 科目 | 金額 | 前期比 前期差 |
|------------------|------------|--------------------|
| グループ売上 | 11兆1,500億円 | 105.0% +5,284億円 |
| 営業収益 | 6兆1,000億円 | 104.5% +2,643億円 |
| 営業利益 | 3,865億円 | 106.0% +219億円 |
| 経常利益 | 3,850億円 | 105.7% +205億円 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,770億円 | 182.9% +802億円 |

4月6日に公表した連結業績予想は変更ございません



補 足 資 料

国内コンビニエンスストア事業：実績

セブン-イレブン・ジャパン



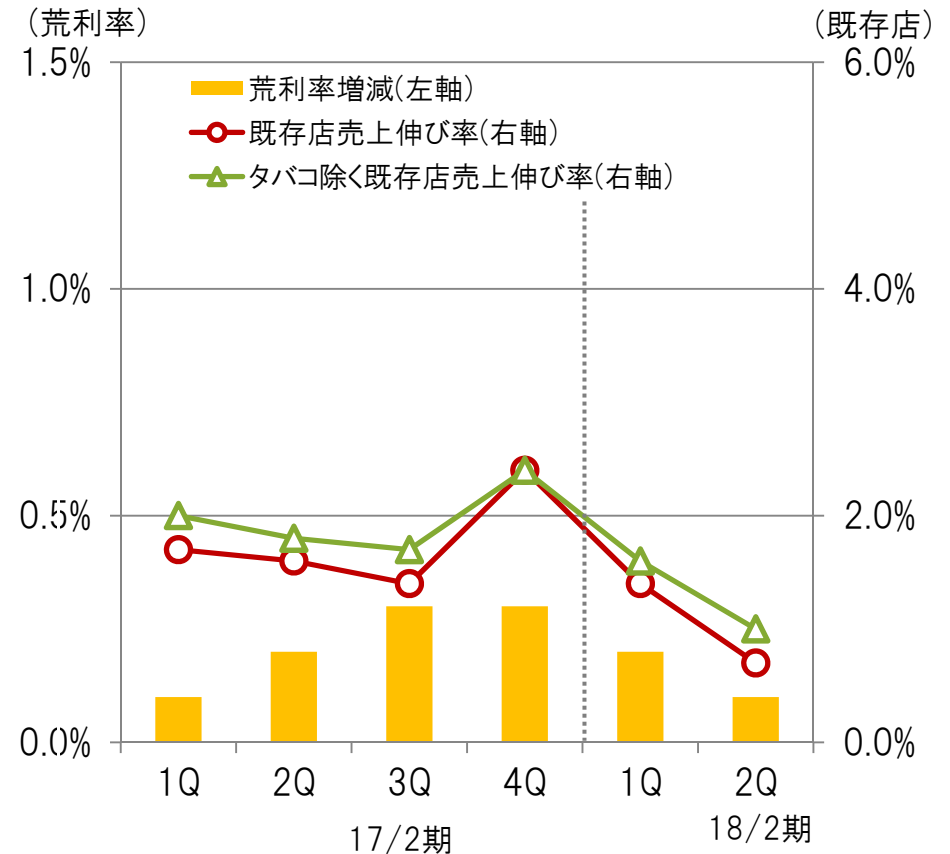
主に既存店売上と荒利率の改善により、7期連続で過去最高益を達成

| | 実績 | 前期比 |
|----------|---------|-----------------|
| 営業利益 | 1,307億円 | 103.3% +42億円 |
| 既存店売上伸び率 | +1.0% | |
| 商品荒利率 | 31.9% | +0.1% |

概況

- ・既存店売上 : 品質を向上したデイリー商品やカウンター商品の伸長が牽引
- ・荒利率 : フライヤー商品やセブンカフェ等の高荒利率の販売伸長等で改善
- ・営業利益 : 既存店売上の伸長と荒利率改善に加え、販管費の伸びを圧縮し、過去最高益を達成

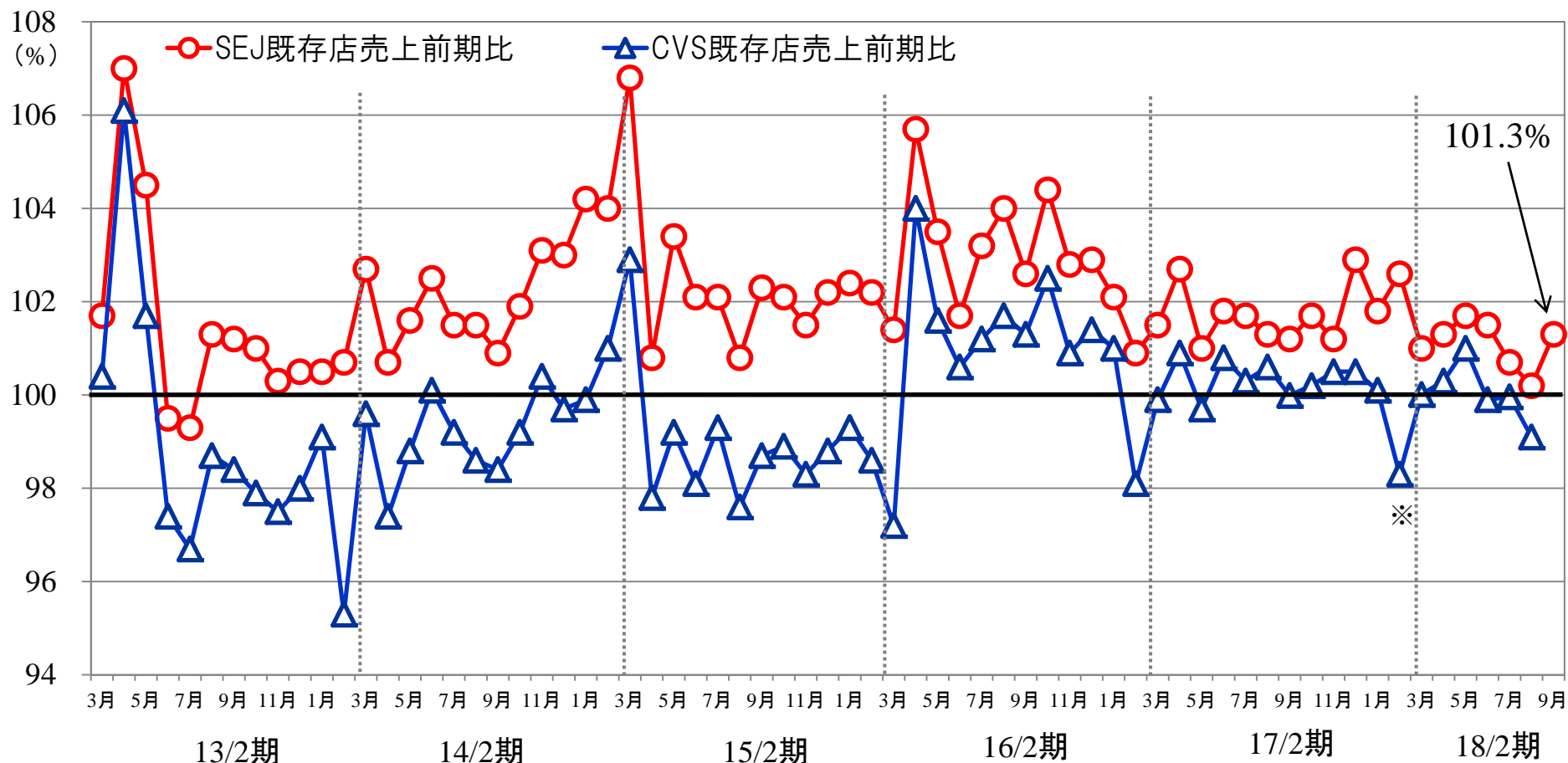
■ 四半期別の推移



SEJ：既存店売上前期比の推移

●オリジナル商品の強化等により、62ヶ月連続で前年を上回って推移

■SEJ既存店売上前期比とCVS既存店売上前期比の推移（日本フランチャイズチェーン協会）

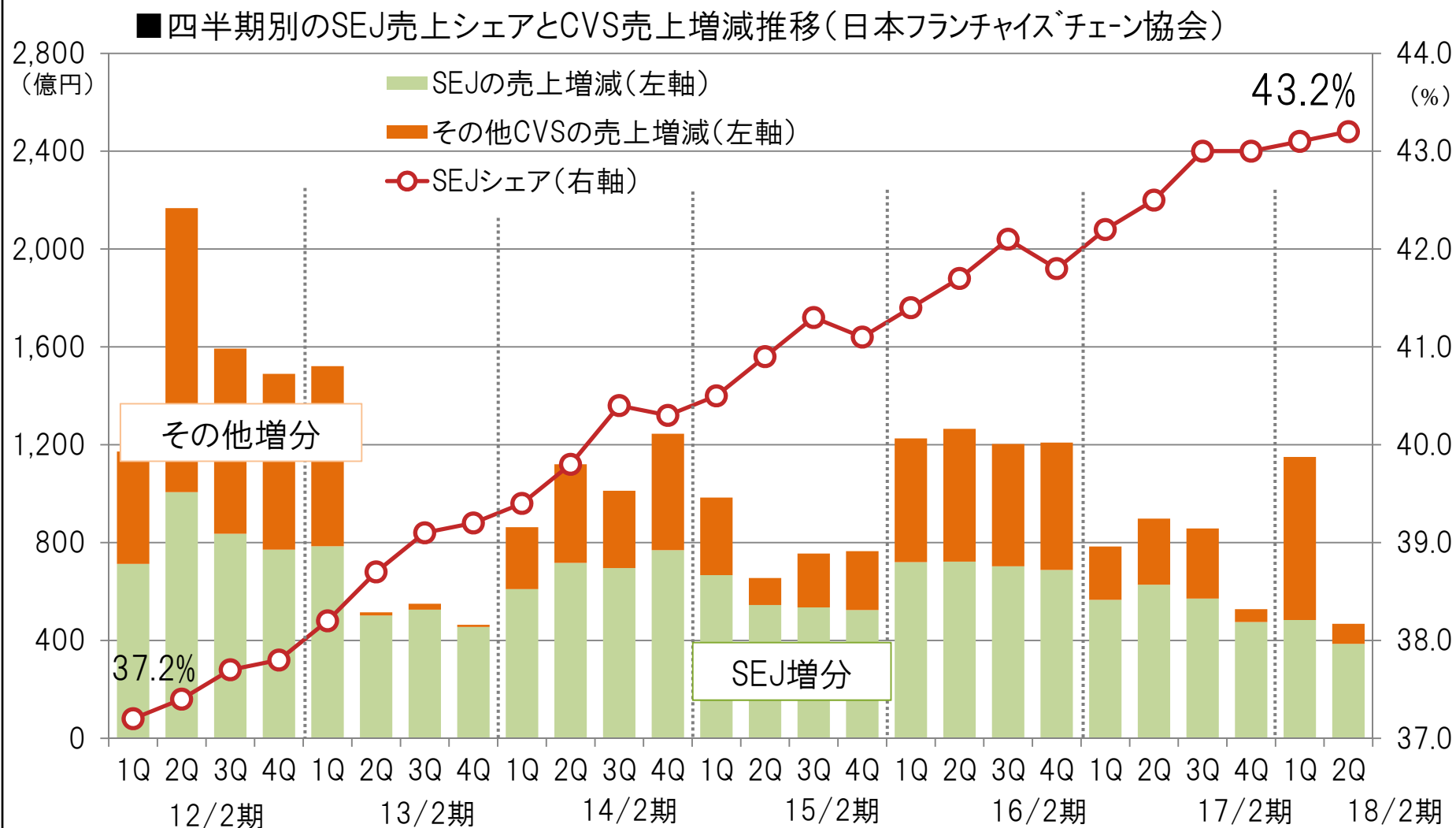


※ CVS既存店前期比の16年2月の数値は、閏年影響を含む総売上での前期比(101.6%)から日販ベースに換算した数値を表示

(出典)JFAコンビニエンスストア統計調査月報

SEJ: 四半期別売上シェアと売上増減の推移

● 既存店売上の伸長により、売上シェアは過去最高の43.2%に拡大



(出典)JFAコンビニエンスストア統計調査月報

海外コンビニエンスストア事業：実績

7-Eleven, Inc.



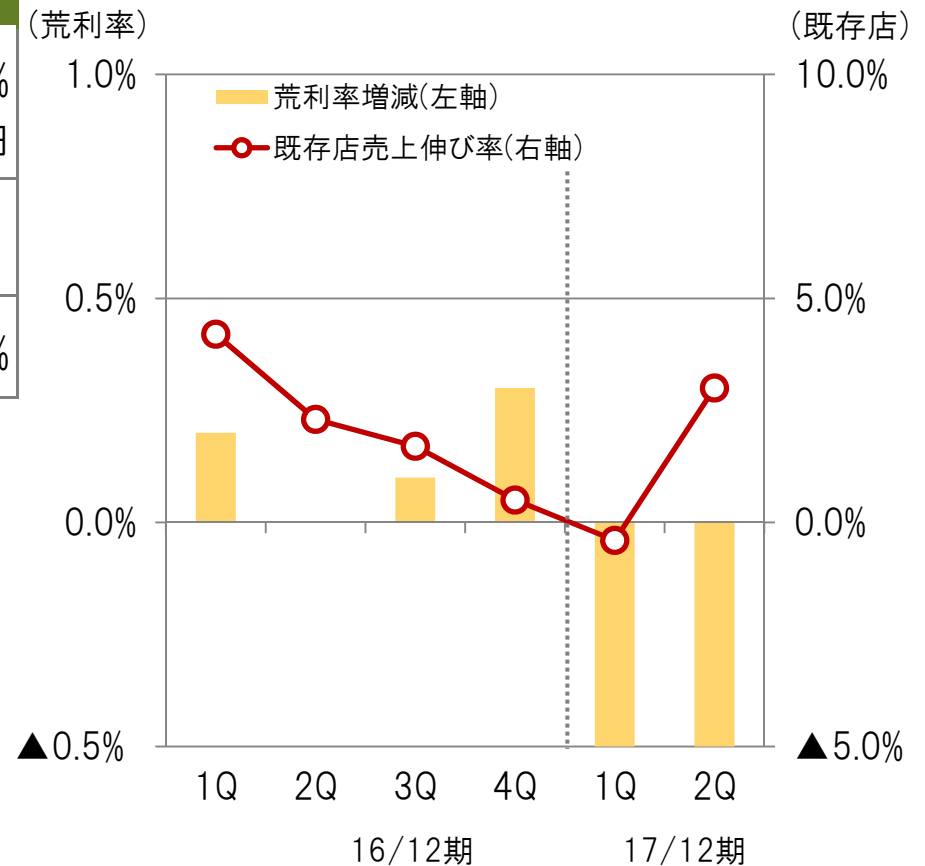
商品荒利率悪化も、ガソリン売上が好調に推移したことなどにより増益

| | 実績 | 前期比 |
|--------------------------|-------|-----------------|
| 営業利益 | 394億円 | 107.8% +28億円 |
| 米国内既存店商品売上 伸び率(ドルベース) | +1.5% | |
| 商品荒利率 | 34.4% | ▲0.5% |

概況

- ・既存店売上：天候影響があったものの、タバコの販売が好調に推移したことなどによりプラス
- ・荒利率：低荒利率のタバコ売上が伸長したことや飲料等の販売が減少したことにより悪化
- ・営業利益：商品荒利率は悪化したものの、好調なガソリン売上などにより増益

■ 四半期別の推移



スーパーストア事業：実績①

イトーヨーカ堂



既存店売上マイナスも、販管費の削減や荒利率の改善により増益

| | 実績 | 前期比 |
|----------|---------------|------------|
| 営業利益 | ▲19億円 | - +14億円 |
| 既存店売上伸び率 | ▲2.6%(▲1.7%*) | |
| 商品荒利率 | 29.4% | +0.5% |

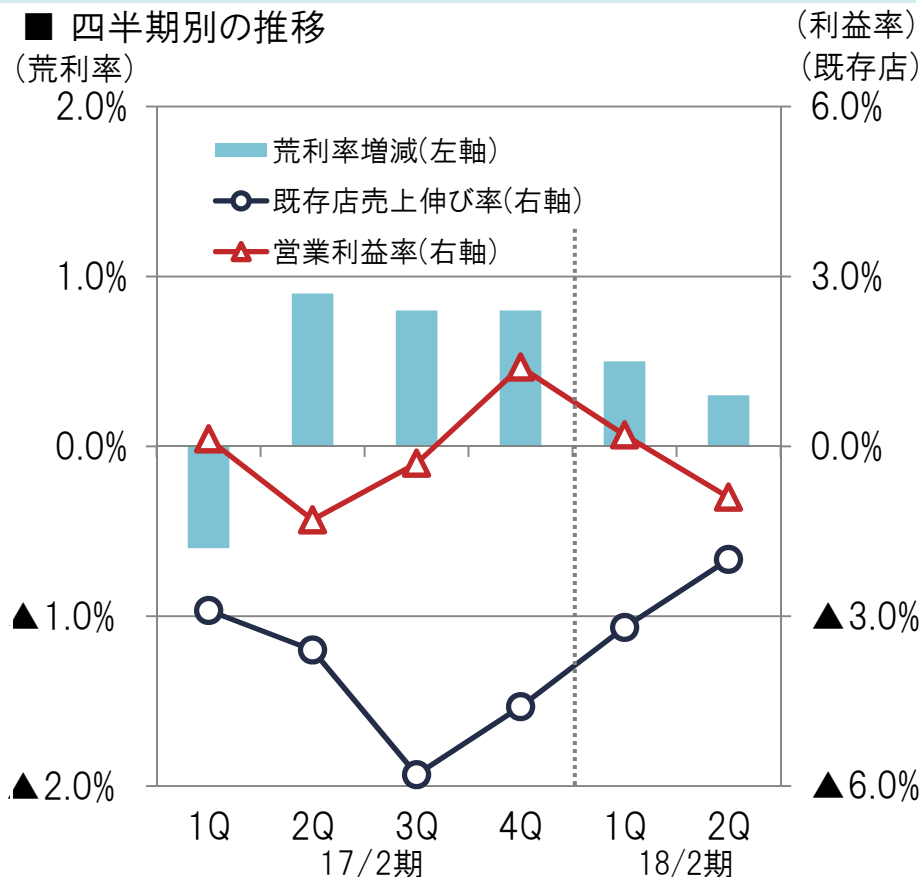
概況

- ・既存店売上 : チラシの本数削減や衣料・住居の割引幅を縮小したことなどによりマイナス
- ・荒利率 : 販促の見直しや食品における値下げロス削減によりプラス
- ・営業利益 : 販管費の削減(▲35億円)や荒利率の改善等により、既存店売上マイナスを補い、増益

改装進捗

今期19店舗改装計画 / 上期6店舗改装実施(アリオ既存:4店舗、テナントミックス2店舗)

*SC合計の既存店売上伸び率



スーパーストア事業：実績②

ヨークベニマル



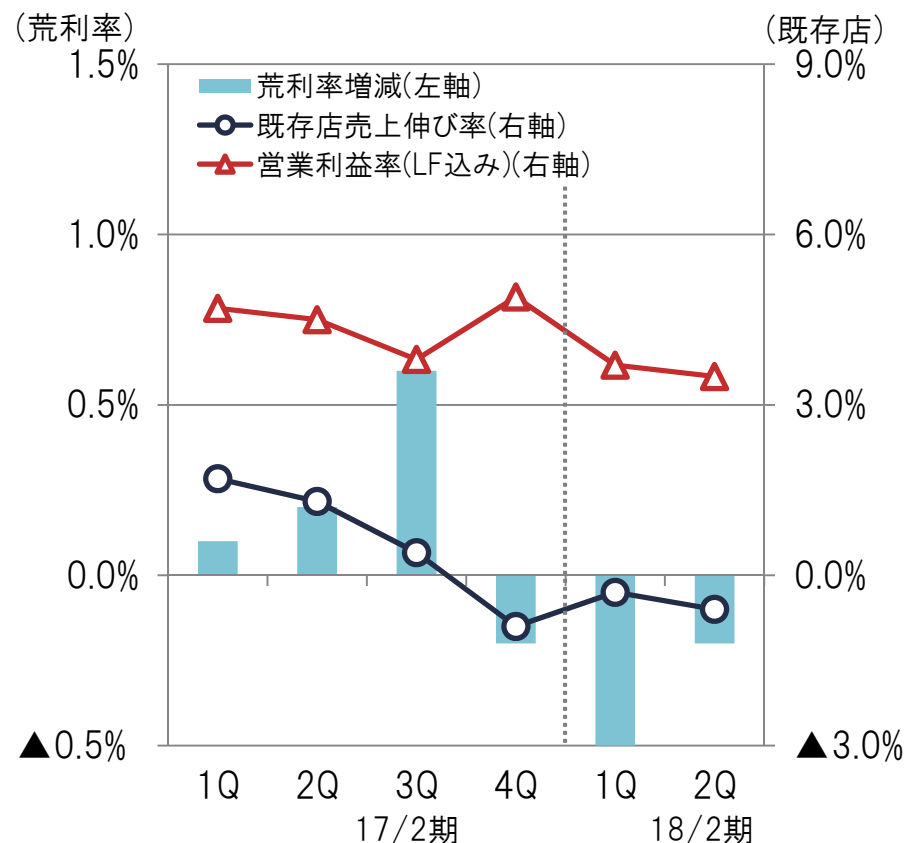
既存店売上と荒利率がともにマイナス、店舗数増等に伴う経費増により減益

| | 実績 | 前期比 |
|---------------------|-------|-----------------|
| 営業利益 | 63億円 | 90.5% ▲6.6億円 |
| 既存店売上伸び率 | ▲0.4% | |
| 商品荒利率 | 25.4% | ▲0.3% |
| 営業利益 (ライフフーズ込み)* | 86億円 | 90.5% ▲9.0億円 |

概況

- ・既存店売上 : 食品がプラスも衣料・住居のマイナスを補えずマイナス
- ・荒利率 : 販促を強化したことなどによりマイナス
- ・営業利益 : 既存店売上と荒利率のマイナスにより減益

■ 四半期別の推移



*ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマル(YB)の店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

(注) YB+LFの営業利益は管理上の数値です。

百貨店事業：実績

そごう・西武



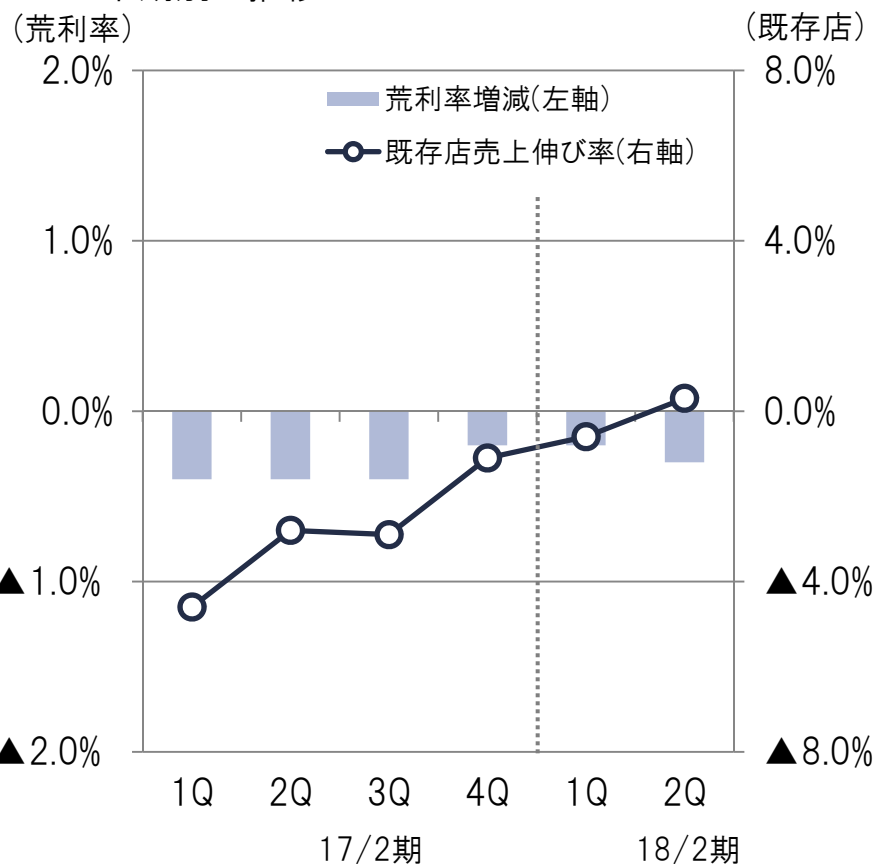
構造改革による販管費の適正化を推進し増益

| | 実績 | 前期比 |
|----------|-------|-------------|
| 営業利益 | 6.2億円 | - +5.8億円 |
| 既存店売上伸び率 | ▲0.1% | |
| 商品荒利率 | 24.0% | ▲0.2% |

概況

- ・既存店売上：宣伝装飾費の適正化を推進するも計画を上回って推移
衣料は苦戦継続も、雑貨・食品は伸長
- ・荒利率：荒利率が高い衣料品の売上減少等によりマイナス
- ・営業利益：衣料品を中心とした売上の減少と荒利率の悪化も、構造改革に伴う販管費適正化により増益

■ 四半期別の推移



当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。

したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。